

GP クアラルンプール

2014 参加記



2014/1/24（金）-26（日）

Sunway Pyramid Convention Centre

目次

この本について	2	チャイナタウンの治安	20
GP クアラルンプールについて	2	タクシーでホテルに戻る	21
GP クアラルンプール 2013 に参加を決める	3	初日終了	21
事前情報と準備	3		
航空券とホテルを予約	4	1月25日（土） ビュッフェの朝食	22
女房連れの参加を決定	4	GP 本戦会場入り	22
事前の準備	5	GP 本戦登録と構築開始	23
オンライン予約（スリープイン付）を行う	5	GP 本戦開始	24
出国直前の準備	6	GP 本戦のテーブル割り	26
		モール内のレストランで夕食	27
1月23日（木） 日本を出国	7	食後の買い物タイム	28
機内のカタログでドリンクを注文	8		
		1月26日（日）	
1月24日（金） マレーシア入国	9	スーパーサンデーシールドの朝	30
空港でタクシーを申し込む	9	構築開始	30
タクシーで Sunway Pyramid Hotel へ	10	スーパーサンデーシールド開始	31
チェックインして部屋へ	11	モールの周辺を観光	33
GP 会場入り	11	現地飯の夕食	34
モール内を探検	12	日本アニメの DVD	35
直前 GPT シールド ポッド 2	13	ばちもんガンダム	36
ひと休みして会場内を見渡す	14	帰国の準備	36
直前 GPT シールド ポッド 6	16	ばちもんガンダムを作り始める	37
会場の席割り	18		
チャイナタウンへ	18	1月27日（月） 帰国の朝	38
チャイナタウンで夕食	19		

GPでの嫁スリーブの使用について	38	空港で昼食	41
荷造り完了	39	出国	42
最後の散歩と買い物	40	機内食など	42
チェックアウトとタクシー相乗り	41	帰国	43

この本について

本書は2014年1月24日（金）～26（日）にかけマレーシアのSunway Pyramid Convension Centreで開催されたマジック・ザ・ギャザリングのクアラルンプール大会（GPクアラルンプール）に、プレイヤーとして参加した筆者の記録です。

なお、現地の金額表記は原則としてマレーシア通貨 MYR(リンギット)で行いました。およそ1MYR=30.8円（2014年1月）で、感覚的には1MYR=30円で使ってしまうと、やや使い過ぎるので注意して使わなければ…という感じでしたね。

GP クアラルンプールについて

本書を手取るような方であればおよそ説明のないとは思われますが、GP（Grand Prix; グランプリ）というのは、1年に50回くらい世界のあちこちの都市で開催されているカードゲーム「マジック・ザ・ギャザリング」の大会です。

世界中から1000-2000人くらいのプレイヤーが集まって、日本でも1年に3回ほど開催されます。

GPクアラルンプール2014は、マレーシアのクアラルンプールで2014年に開催された大会…ということになります。

<http://www.wizards.com/Magic/Magazine/Article.aspx?x=grandprix/welcome#1>

GP クアラルンプール 2014 に参加を決める

基本的に筆者は、GP 台湾 2012 や GP ラスベガス 2013 を堪能して以来、近場（※ 1）の海外のリミテッド（※ 2）の GP にはお金や有休に余裕があれば参加することをデフォの行動にすることにしました。このため GP クアラルンプールも、GP 香港にも GP 京都にも GP 静岡にもまだ行っていない 10 月頭には参加を早々に決めてしまいました。何しろ安い（旅費ホテル込みで 5 万円）し、有休も何とかなる見込みだったので。

- ※ 1 飛行機でせいぜい半日くらいの所。海外は中国やマレーシア、ハワイあたりまで。豪州や米大陸や欧州は圏外。ただしラスベガスは別腹（笑）。
- ※ 2 筆者は「プレイヤー」としては構築はそれほど興味はありません。ただ国内 GP は採用されればジャッジで参加することを優先しています。

事前情報と準備

ウィザーズの GP サイト（※ 1）で会場は Sunway Pyramid Convention Centre（※ 2）、主催は Play!Events（※ 3）であることは 10 月頭には明らかになっていたのでこれらをマークして随時チェック。

※ 1 <http://www.wizards.com/Magic/TCG/Events.aspx?x=mtg/event/grandprix/kualalumpur14>

※ 2 <http://www.sunwaylagoonhotels.net/facilities.html>

※ 3 <https://www.facebook.com/PlayEventsLLP>

しかし結局、主催の Play!Events の常として Facebook からは公式にも載っているサイドイベント案内とバイヤーリストくらいしか出ませんでした。構いませんけど。

自分の予定もざっくりと「金曜日はエントリー後に直前トライアルシールド」「土曜日は本戦」「日曜日はスーパーサンデーシールド」くらいで、実際その通りになりました。

航空券とホテルを予約

まずは基本プランを決めて、航空券とホテルの取得から。

いつものように安さを優先で Expedia で比較すると、どうやら LCC（格安航空会社）であるエアアジアが安い。さらに調べると、エアアジアには「深夜 23:45 に羽田を出て朝の 6 時半に現地に到着する」というフライトがあることが判明。つまりこれは、木曜日に移動のため有休を取得しなくても金曜日にフル参加できることを意味する。これはいい！即座に決定。帰りは月曜の昼に向こうを出て月曜の夜に羽田着という、まあ普通。

LCC は未体験だけど、それを含めてのトライアルもありで。

次はホテルの決定。会場の Sunway Pyramid Convention Centre の場所であるプタリンジャヤ地区の場所を地図で確認し、近くの安宿を検索して 300m ほど離れているように見える 1 泊 2000 円ほどの宿を 3 泊仮予約（キャンセル可）。

しかしその後、よく見ると GP 会場を含む Sunway リゾート敷地内の Sunway Pyramid Hotel（4 つ星）でも 1 泊 12000 円ほどと知り、あれ？もしかしてここに泊まれば快適なうえ会場へのアクセスが非常に楽じゃね？と気がついた。

一泊で 12000 円は自分的にそれほどお安くはないが、例によって海外のホテルは部屋単位なので、これは誰かとルームシェアすれば実質 1 泊 6 千円（朝食付き）だということだ。それで会場に近い 4 つ星ホテルに泊まれるのなら悪くない…と思い至る。

女房連れの参加を決定

あとは誰とルームシェアするかが…GP クアラルンプールに行く友人を誘うのも手だが、ここでふと女房の存在を思い出す。

うちの女房は基本タイバニだけ与えていれば良く（笑）別にマジックをさせる気もない（10 数年前に一度だけ勧めて挫折）ので自分は国内外の GP も 1 人で勝手に行っているわけですが、女房と海外に行ったのは新婚旅行オーストラリア（2000 年）と、2 つ前の会社のバックツアーで台湾（2006 年）に行った時のみであることに気がつく。

そこで女房に海外旅行プレゼントの計画を打診すると、その日はイベントはあるが旅行も上等なようで承諾。これで実質一泊6千円。まあ金はどのみち全部俺が出すんだが（笑）。もちろん自分はGP最優先なので現地で女房を構えないのは折り込み済みだが、まあショッピングなり何なりで暇は十分潰せるだろうということ。

このため先の安宿をキャンセルして Sunway Pyramid Hotel を金土日で予約し、追加のエアアジアの同便の航空券も無事に手配。自分が買ったときより数千円高くなっていた。だから予定が決まっているならホテルや航空券はさっさと申し込んだほうがいいんだな。直前のディスカウントに期待する手もあるけど、よほど人気がなく空きがあるプランでもない限り滅多に得をすることはなく値上げで悔しい思いをするリスクのほうが高い。

事前の準備

あとはとりあえず型通りに観光ガイドを買ったり、クアラルンプール関連の無料アプリを落とす。ただし今回の会場の Sunway モールが市の中心部から30分ほどかかるプタリンジャヤ地区であるため、市内観光を気軽に行うのは難しいかな…とも思えたので市内観光プランにはあまり熱が入らず。まあ Sunway モールの囲い込みに乗るのも手か。

あとは女房と別行動が予想されたため、いつもの Global Wifi に2台目のモデムを手配。現地での相互連絡はたぶん Twitter のDMがメインになる筈だ。

また金曜の朝は空港からホテルに直行しアーリーチェックインをして部屋に荷物を置いて着替えてから会場入りすべきなので、ホテルにメールを送りその点を確認する。

オンライン予約（スリープイン付）を行う

年明けには主催サイトに「オンライン予約」案内が出たものの、冒頭から「これは金曜に会場入りできないかスリープイン利用者のためのものであり、通常参加者はオンラインで予約しても当日の朝8時会場受付の必要があるし先着プレイマットも保証しない」と宣言。はっきり「通常参加者はこれに申し込むな」と言っているに等しい。うーむ。

実際問題として、朝 6 時半にマレーシアに到着しても朝 8 時に会場入りするのは低くないリスクがあるので、それを避けるにはやはり金曜に入国する必要があり、それならば前日受付をすれば良いよね、という話ではある。

まあ「定員オーバーで前日受付の時点で参加を断る」可能性は実質ゼロと判断してのことなのだろうけど、にしても海外遠征組としては「できれば日本で確実に事前の申し込みを済ませて安心したいよね」というのも人情。実際これで GP クアラルンプールへの参加を止めることにした日本人もいた感じで、いささか残念。

自分もやはり安心したかったことから「んじゃスリープインつきで申し込もう」と参加費 120MYR にプラスしてスリープイン 50MYR を加算して申し込む。

なお案内ページ（※）フォームで申し込んで判明したが、オンライン課金処理などもなく「手作業」で予約登録をやるようだ。なるほど、だから「不要なら申し込むな」なのか。でも事前予約を充実させたほうが当日楽だから、この辺はシステム化すべきだと思う。

※<http://www.playeventsasia.com/#!onlineregistration/c2064>

出国直前の準備

金曜の朝に空港からホテルに直行して着替えることから、木曜はわざわざいったん家に帰って着替えるまでもなく、会社帰りの背広でそのまま羽田に行けば良いと判断する。家に帰る時間はあるけど面倒だからね。

それを含めて荷造り。面倒なので今回はサインして貰うためのカードは発掘しなかった。「復活の声」くらいは発掘すべきだったかもしれなかったけど、部屋の腐海がちょっと。

同じ GP クアラルンプールにジャッジで行く Gemstone さんが Web チェックインをしているのを見て、自分も「そういうのがあるのか」とエアアジアのサイトで登録。追加の荷物とか機内食の手配は行わず。まあ少なくとも行きの機内は寝るだけだ。

金土日とは雨という現地天気予報だったが、結局は熱帯で短時間のスコールがほぼ年中降るらしいので、この点は気にしても仕方ないようだ。さてどうなるか。

1月23日（木） 日本を出国

出国便は23:45羽田発なので、普通に仕事をしてオフィスを19時過ぎに出る。

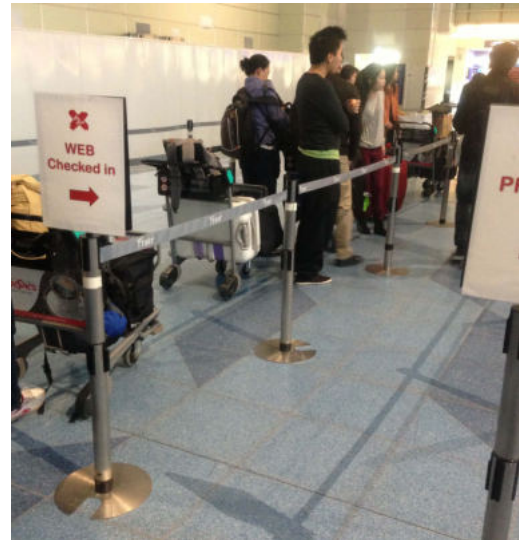
夕食としてニュー新橋ビルの「チャーハン王」に入る。ここは料理を出すのが遅い店だが、まあ余裕。20分ほど待って到着したチャーハンをおいしくいただいて20時に新橋を出る。

何ごともなくモノレールに乗り国際線ターミナルに着き、Wifi モデム2台を受け取る。

羽田空港第2ターミナルのタイバニローソンに寄ってきた女房と21時前に合流。女房のガラケー通話部の故障が判明し若干手間取ったがネットは生きていたのでtwitter DMでことなきを得る。

エアアジアは国際線一番端のカウンターIという場末感。すでに受付開始していたがWebチェックインを済ませていたほうの列はだいぶ短い。正解か。

空港カウンターで受付。いつもの緑の旅行カバンに詰めた荷物が「手荷物7kg制限」に引っかかった。



LCC（格安航空会社）ならではの制限だが、意外に少ないな7kg。追加料金を避けるため、いったん横にどいて、その場で店を開き緑のカバンの中身を女房の旅行カバンと、やはり手荷物である自分のリュックサックに詰める。まだ8kg近くはあったようだし明らかに総量は変わらないのだがエアアジアのお姉ちゃんは「OK」をくれた。ありがとー！

とはいえ帰りは荷物は増えるのでオプション料金を払って荷物を預けねばなるまい。

なにごともなく手荷物検査と出国審査を終えて105ゲートへ。やはり一番端。貧乏人は歩かされる。21時半にゲート105に到着。あとはここで2時間待つだけだ。

すでに機は空港内に待機していた。

暇なので、てすちー放送を聴こうと思ったがやはりiPhoneでニコ生は厳しめだった。

なおTwitterを読む限り、渡辺プロとか斉藤トモヒロさんも同じこの便のようだった。まあ選択肢は多くないし、明らかにこの便が安くて好都合だよね。

23時半に搭乗。iPhoneを機内モードにして帰国まで回線を切る。離陸して日付が変わる。

機内のカタログでドリンクを注文

LCCであるエアアジアは、機内食はもちろん飲み物サービスもないわけだが、代わりに座席にあるカタログで飲み物や食事をオーダーできるシステムである。

これはこれで OK。結局は機内フリードリンクとかも高い座席料金で払っているのだしね。

この関係で、言うまでもないが機内への飲食物の持ち込みは禁止である。

基本的には機内数時間を寝ていくだけだが、喉は渴くのでジュースや水をオーダーする。マレーシアの MYR で書かれた値段がよく分からないのでおずおずと購入。

この日レートは 1MYR=30.8 円程度だったが、機内カタログには 1MYR=40 円で表示されており割高感があった。もっとも実際の購入では、日本円の支払いの際にスチュワーズが電卓を片手に計算してお釣りをリングットでくれた。それほどボッタではなさそう。カタログの機内食もなかなかうまそうだ。帰りの夕食は注文しようかなー。



ただし特殊な食事メニューを注文するためには、あらかじめサイトのオンライン予約でオーダーしなければならないらしい。荷物の機内持ち込みオプションも事前申し込みでの割引があるらしいし、やはりこれは帰りの便についてはサイトで予約をしよう。

1月24日（金） マレーシア入国

日本からマレーシアまでは7時間のフライトで、時間的にも基本的には寝ているしかないわけだが、さすがに眠りは浅い。トータルで4時間ほども眠れただろうか。

マレーシアの時差は－1時間。すなわち行きは1時間時計が戻る。

7時間のフライトを終え、何ごともなく現地時間6時半（日本時間7時半）に、飛行機は現地に到着。※以後は現地時間で記す。

着陸後の待ち時間を利用して財布をいつもの旅行財布に交換し、ベルトに鎖で結びつける。

まだ真っ暗な中を飛行機から出て、前のひとについて行きそろそろと歩いて空港のビルへ。

入口がロープで区切って2つに分かれており、スチュワーデスは「右」へと手招きしたが左側に列ができていたので「？」と思いつつ左に並ぶ。

この頃には、周囲にあからさまなG P参加者の日本人が居たので雑談しつつ並んで待つ。

しかしそのまま立ち話をしながら数分待つが、様子が変わるので列を抜けてその先に行ってみると、どうやら入国手続きは右を直進した先にあり左はトランジット待ちの列だった。ありゃ。スチュワーデスさん疑ってゴメン。皆で苦笑しつつ列を抜けて右から建物に入り、しばらく並んで入国審査を無事に通過。

空港でタクシーを申し込む

次のミッションはホテル＆会場の Sunway Pyramid Centre へのタクシー移動である。

明らかに周囲にちらほら居る日本人プレイヤーと行き先は同じではあろうが、普段親しくしている人もいないし女房連れでもあるので特に相乗りは呼びかけず自分たちのペースでいくことにする。先行して入国していた Gemstone さんが「空港から KL 駅まで電車で 10MYR でした」というお得情報をくれるも、目指すホテルは KL 駅からさらにタクシー

で 30 分ほどかかる筈なので、これはパスする。まずはトイレに行き、さらに ATM で VISA キャッシングにより現地通貨 500MYR をゲット。よし、これで戦える。

空港出口にタクシーの呼び込み多数だが、相場も何も分からないいまチャレンジするのは無謀なので、事前にネットで調べていた通り空港のカウンターで「前払い」で Sunway Pyramid へのタクシーチケットを購入する。64MYR。2 千円ほどか。安いのか高いのかはよく分からない。※実はかなり安かったことが後に判明。

そろそろ小腹がすいたので空港のマクドナルドに寄るか…とも考えたが、まずはチェックインして荷物をおろして背広を脱ぎたいので、タクシー乗り場を探す。タクシー乗り場とおぼしき方へ進み、適当なおっちゃんにチケットを見せて「これはどこで乗れるのか」と聞くと正しく教えてくれ、そちらに移動し客待ちのおっちゃんにチケットを見せて乗車。

タクシーで Sunway Pyramid Hotel へ

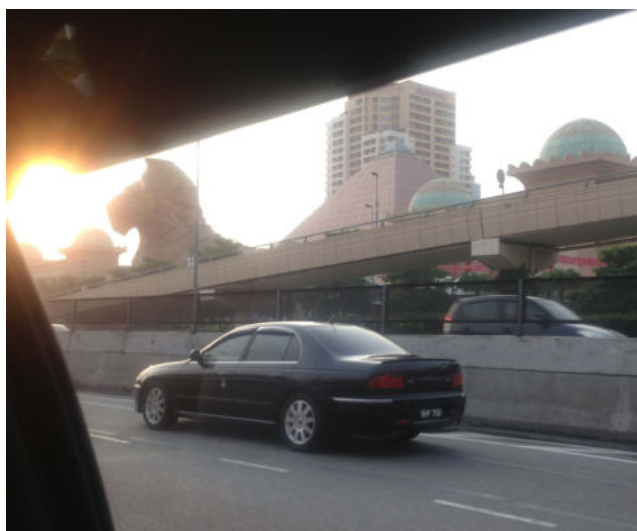
タクシーでホテルに移動し始めた 7 時半頃、夜が明け明るくなってきたので車窓の風景を楽しむ。高速道路沿いに椰子とシュロの木が一杯の南国感だが、頭の中ではドアーズの「The End」が流れ、ナパームでこれらを焼き尽くす風景が浮かぶ「地獄の黙示録」感。

車内は親しげに話しかけてくる運ちゃんに合わせる形で、他愛のない話を拙い英語で行い、終わってから女房に通訳することを何度か行う。

30 分間高速を飛ばしてもタクシーがまだ着かないが「前払い」というのはこういう時に慌てなくてもいいなあ。

しかしやがて 1 時間ほどかけ、タクシーは 8 時半頃に目的地についた。

ピラミッドとスフィンクスだ！



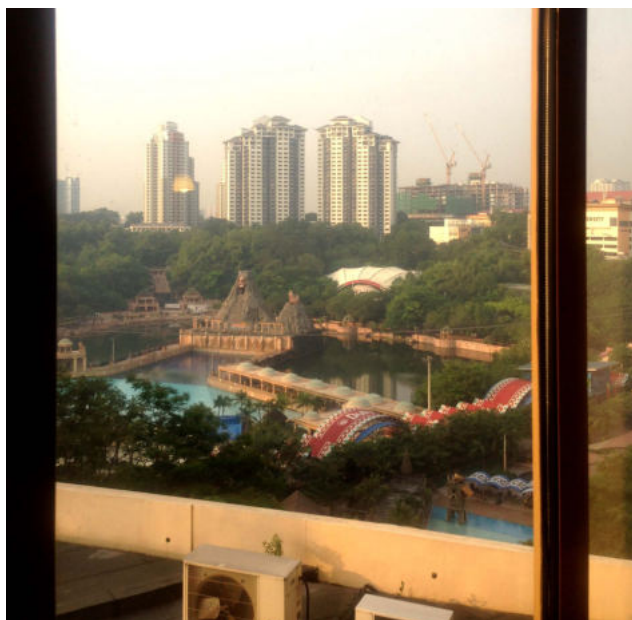
チェックインして部屋へ

ホテルに入りチェックイン。3017号室は最初30階かと思ってエレベーターを探したら、3階だった（笑）。部屋が1フロアに100個あるってことかコレ。

部屋に入る。まあ普通の2人部屋だ。4つ星というほどのものかなぁ…とは思う。

部屋はViewing オプション（割増料金）を指定したものの、確かに外は見えるが正面に施設の建物が視界を塞いでいて、眺望も糞もないだろこれ（笑）。

右側に目を転じると、この施設のプールを含めそこそこ観られる光景。視界の下の方のエアコン室外機は見ない方向で（笑）。まあクレームを入れるほどではないか…。



GP 会場入り

ともあれ荷物を部屋に放り出し、背広を脱いでシャワーを浴びて、着替える。

9時過ぎに部屋を出て、施設内にある筈の Convension Centre を探して女房とうろうろ。まだこの巨大モールの方向感覚がよく分からないが、それでも9時半には会場を発見して入れた。まだ受付はやっていないようだが、とりあえず一部の店も開いており、会場内を



うろついても構わなそうだったので会場内の写真をパチリ。

余談だが、このカバー付きの豪華な椅子は普段パイプ椅子に慣れていた日本勢には割と新鮮だったようで、この写真をつぶやいたら日本からは多めにRTされていた。

モール内を探検

とはいえまだ GPT 受付も始まっていないようでもあり、何よりも腹が減ったので朝食にしようといったん GP 会場を出て女房とこの Sunway モール内の探検を開始する。



どうやらこのモールは、いくつかの吹き抜けを囲んだブロックを連結した構造になっているようだ。

とある吹き抜けブロックに観覧車www

思わず下のフロアから観覧車沿いに上のフロアに移動するララ・クラフト（トゥームレイダー）を夢想。

別の吹き抜けブロックの一番下の階層にスケートリンク。すげえ。



そしてしばらく回って気がついたのは、どうやらこのモール全体は10時開店のようで、10時前にはファストフードも含め飯にありつける場所がないらしいということ。むむむ。

とはいえ自分は10時からの直前 GPT シールドに参加したいので、女房にさっき開店前のスーパーに並んでいたクロワッサンと、Popeyes のフライドチキンのセットを後で会場まで持参するように申し付けたうえ、女房と別れて会場に戻る。

ちなみに日本で借りた Wifi は、この頃には全然つながらなくなってかなりトホホな気分になる。施設内の問題のような気もするが正直、損した。

直前 GPT シールド ポッド 2

会場に戻るともう GPT シールドのエントリーが始まっていたので、80MYR を支払ってポッド 2 にエントリー。しばらく待ってから参加。

まずはチェックパックの交換と、自分のレアチェックから。

《Handred-Handed One》
《Thassa, God of the Sea》
《Revrent Hunter》
《Prophet of Kruphix》
《Temple of Deceit》
《Temple of Silence》

タッサ以外は安いなー。プールのにも、やはりタッサを入れないわけにもいかないので青黒で組む。

直前 GPT シールドは 32 人フラインクのシングルエリミネーションの 5 回戦。1 回負ければそこで終了。優勝は期待していないが、さて何勝できるかなー。

1 回戦：糸さん 黒緑 ○○

なぜ数少ない顔見知りの日本人といきなり当たるのか（笑）。

ゲームのほうは 2 回とも早々にタッサが出て、ドローを良くできて勝ち。

GPT ポッド2 のデッキ

Creatures:15	Spells:7	Lands:17
《Omenspeaker》	《Annul》	《Temple of Deceit》
《Thassa, God of the Sea》	《Viper's Kiss》	《島》 * 7
《Vaporkin》	《Voyage's End》 *2	《沼》 * 8
《Fleshmad Steed》	《Griptide》	《山》
《Returned Phalanx》	《Lash of the Whip》	
《Shipwreck Singer》	《Sea God's Revenge》	
《Cracking Trion》 *2		
《Nimbus Naiad》 *3		
《Blood-Toll Harpy》		
《Burnished Hart》		
《Cavern Lampad》		Sideboard :
《Insatiable Harpy》		《Triton Tactics》
《Returned Centaur》		

2 回戦 : Chrisnabi さん 黒緑 ××

よく除去なども噛み合っていて、アドを取られ続けて負け。

3 パックを貰って終了。80MYR なら、1 勝すると十分割に合う感じ。

もう 1 回くらい参加しようかな。

ひと休みして会場内を見渡す

女房がお使いを済ませて来たので、空いた時間に空いた席に座ってむしゃむしゃ食べる。フライドチキンは幸せのこと。マレーシアはイスラムとヒンズーの影響で、豚肉牛肉より鶏肉と羊肉がメインディッシュであることが多い。はっきり言って大歓迎。

また会場内に無料のドリンクサーバーが設置されていたので、ぐびぐびと水を飲む。



マレーシアは硬水なので日本人には腹を下した人も居て、参加者の間ではこれは飲むなとも囁かれていたらしいのだが、自分は構わずに飲む。全般に少しお腹がゆるくなったが異常なし。快食快便。

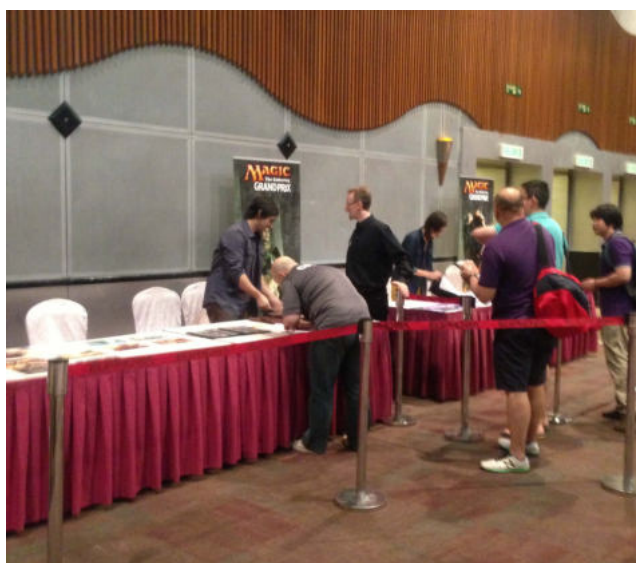
ちなみに Gemstone さんはホテル部屋のペットボトル水でも腹を下したらしい。

物販コーナーで水墨画プレイマットを売っている店があったので、三国志プレイマットは目をくれずに美女プレイマットを購入。50MYR。1500 円ならいいよね。



また 14 時頃には本戦エントリーも始まったが、スリープイン 1BYE の自分はこれは無視してそのまま GPT に参加。

まだ金曜日なのにサイン会を始める模様。あまり準備のない自分はまあいいか、とも思ってスルー。リッカルドが談笑中。



直前 GPT シールド ポッド 6

さらに 80MYR を支払って GPT ポッド 6 に再度エントリーし、やがて開始された。

まずはチェックパックから。1 パックずつ枚数を確認しながら剥いていくと、残念レアの連続で「あーかわいそうに。でも最後にペス子が出るかもしれないよね」と思っていたら、本当に最後の 1 パックからペス子が出たので内心で吹いた。

しかし光っているペス子ならともかく、ノーマルのペス子なら（参加費の元は取れるとはいえ）優勝 BYE はともかく PWP もあるからドロップするほどじゃないよねえ、と思ってそのままペス子を含めてチェックを済ませた後で普通に回す。

テーブルをまたがずに左に 2 回だけ回しだったことから、左斜め前の人にそれが渡った。その人は構築開始時に声をあげ、かつこちらにお礼を言ってきた。悪くない気分だ。

さらにこの話には、そのようにした自分の所に、右の 2 つ隣の人からペス子入りパックが回ってきたというオチがついた（笑）。まさに「情けは人のためならず」。

《Elspeth, Sun's Champion》
《Reverent Hunter》
《Prophet of Kruphix》
《Underworld Cerberus》
《Akroan Horse》
《Temple of Silence》

構築はペス子も含めたレアパワーを期待しての白緑英雄。
バウンスの青を混ぜるべきか悩むが、見送る。
試練が 2 枚は心強いのではないか。

同様に 32 人フライングのシングルエリミネーションの 5 回戦。今度は何勝できるかなー。

Round1 Kevin さん 青黒緑 ×○○

G1 相手に先手 3 ターン目にアショクを出されて GG。アショク除去の目がなく投了。

G2 アショクが出てこなかったので勝ち。

G3 アショクが出てこなかったので勝ち。

雑な話だが、実際リミテ先手 3 ターン目でアショクが出てただちにタフネス 5 になったら、よっぽどこっちが神回りでない限りはライブラリーを覗かれるより投了すべき。

Round2 Hassanさん 黒赤 ○○

向こうの除去火力も、タフネスの増加やプロテクションのインスタントでしのいで同時に英雄が成長して、2ゲームとも危なげなく勝ちを取る。

割と初心者ぽい方ではあった。こちらが先手2ターン目に熊を出したエンドにマグマジェットを打ってきたので、てっきり熊の除去かと思ったら最初「本体」を指定してきたくらいで。確認を求めたら熊を焼くことに切り替えたけど（競技だけど気にしない）。

ハッサンさんはこちらの顔を覚えたようで、その後での土日も顔を合わせる都度こちらに挨拶をしてきてしばし談笑する。まったく関係ないが自分はいまの会社の同僚にハッサンという名前の人がいる（外見も含めアラブ人だが中身はただの日本人）ので内心微笑。

Round3 Montenegroさん 黒赤緑 ××

さすがにベスト8のラインはもう甘くない。除去も的確に引かれて、アンブロッカブルで殴られたりして負け。

6パックの賞品を貰って終了。1勝3パックなのかな。次はいよいよ明日の本戦だ。

GPT ポッド6のデッキ

Creatures:14	Spells:9	Lands:17
《Hopeful Eidolon》	《God's Willing》	《平地》*9
《Traveling Philosopher》	《Chosen by Helioid》	《森》*8
《Wingsteed Rider》*2	《Battlewise Valor》	
《Observant Alseid》	《Ordeal of Helioid》	
《Agent of Horizon》	《Ordeal of Nylea》	
《Nessian Courser》*2	《Dauntless Onslaught》	
《Reverent Hunter》	《Fade into Antiquity》	
《Chronicler Heroes》	《Time to Feed》	
《Heriod's Emissary》	《Elspeth, Sun's Champion》	
《Stand-Hearted Warrior》		
《Centarur Battlemaster》		
《Nemesis of Mortals》		
		Sideboard :
		なし

会場の席割り

会場はテーブルを全部横に並べたうえで、1行72席で構成されていました。

数えるのを忘れたけど多分20行くらいはあったと思う。

そしてGPTでの席割りは、半分余るのは気にせずにGPTの32人ポッドごとに会場の1行を贅沢に使用したうえ、外周横にポッド番号を紙で貼っていました。

これは単純で分かりやすかったですね。



そしてGPT 3回戦が終了したらポッドを解放して次のポッドに使ったうえで、上位の4人はランドステーション横の特別席に移動させてそこで残り2回戦を行う方式であった。

席に十分余裕があるからできる方法だが、これはこれで分かりやすい。

チャイナタウンへ

GPT ポッド6を終えるところそろそろ17時。

まだギリギリGPT 最終ポッドにエントリーできたものの、気持ち良く2勝したのでもうこんなもんでいいやと思い、女房とクアラルンプールの市内観光に行くことにする。

怪しいチープなもの好きの自分としては、チャイナタウンには行きたかったんだよね。

部屋に戻ったら女房が居たので、支度をしてから部屋を出る。コンシェルジュに頼んでタクシーを手配して貰う。

チャイナタウンまで 60MYR とのこと。
えーと… 2 千円ほどか。そんなものか。

タクシーからの夕暮れのスフィンクス。
目が光っていた。



Sunway から 30 分ほどタクシーを飛ばし、19 時前にジャラン・ペタリンのチャイナタウン入口に到着。正面から撮影するには交通量の多い通りを向かいに渡る必要があったので、横から見上げてパチリと 1 枚。

しかし何にせよ、やっぱりこの Sunway モールはクアラルンプール市街からはちょっと遠いよね。

まあ GP 会場だから仕方ないけど。

さっそくアーケードに入り、ぶらぶらと歩いて安い T シャツ (6MYR) を買ったりする。襟付きのシャツも買ったが、これは襟中に紙が入っていた粗悪品。失敗。別に安くもなかったのに。

チャイナタウンで夕食

しばらく歩いてから、飯屋が通りに出しているごみごみしたテーブルに着席してオーダー。ディスプレイが夕暮れに非常に綺麗だったので見上げてパチリ (この本の表紙)。

そしてマンゴージュース（5MYR）を飲み、
本題のチャーハン(M)とカレーチキン(S)と
ポークチョップ（S）を頼んで女房とつまむ。

カレーチキンはスパイシーさに女房が一口
つまんで悲鳴を上げてこちらに皿を寄せた
ので全部いただく。確かにこれは辛ウマー。

Sでこのサイズだと、全部を M にしないで
正解か。チャーハンは2人でちょうどいい。



トータル 50MYR くらいで、たぶん現地基準で相当に金を使った食事のような気もするが、
こちとら観光客であるし散財上等。ともあれ満腹した。

チャイナタウンの治安

その後、1時間ほどチャイナタウン全体をあちこちうろうろして散策。

女房は衣類なども買っていたようだが、正直なところイリーガルなものを期待した自分と
しては怪しい著作権無視アニメTシャツくらいではパンチが足りない。ていうかはっきり
言ってエロが足りない。日本のAVのコピーDVDもまったく見かけないしな！

数年前のネット記事ではマレーシアのチャイナタウンにはいくらでもあると聞いたのに！

もっともチャイナタウン全体が、20mも歩くと警官の2-3人組とすれ違うという状態で
あったのでやはり無理なのかもしれない。どうやら本気でエロを取り締まってるっぽいし。

追記：

真偽のほどは不明だが、Gemstoneさんが現地人ジャッジから聞いたところによると、何やらこの時マレーシアでは
中華ヤクザとマレーシアヤクザの抗争が勃発中であり、チャイナタウンなどは特にピリピリしていたらしい。

警官が異常に多かったのはそのためだったのか。

観光客丸出しとはいえ、香港でマレーシア人に間違えられたことのある自分は実は危険だったのかもしれない。

明日以降履く「サンダル」や荷物を入れる「布バッグ」を、雑貨店で安く購入。この店は値段が明記しており（しかも安い）、アジア人のお姉ちゃんが素敵な笑顔で、バッグを買う際にも目の前でチャックを開封して「ほら大丈夫でしょ」とデモしてくれる。値切らず女房ともども好感を持ち「ぜひ息子の嫁に欲しいものだ」と話す。息子ってなんだ（笑）。

タクシーでホテルに戻る

21 時。そろそろ帰ろう。帰りはタクシーを自力で拾わねばならないが、チャイナタウンの入り口にうろうろしているおっちゃんに話しかけて Sunway Pyramid まででと聞くと 50MYR を提示。ふむ。交渉成立。

タクシーが途中、給油に寄るという事案が発生したが、延長分をぼられることもなく到着。女房は、高速道路のゲート通過をする際に、運ちゃんが窓を開けずドアを開けて隙間から手を出していたのに怖がっていたようだ。そういう習慣なのか。22 時前に戻る。

初日終了

どうも Sunway モールは 22 時には閉店してしまうようだ。10 時開店なのに！

このため、やや急ぎつつモール 1 F のスーパーに入って、今晚つまむポテチや土産のチョコレートなどを手早く購入する。

22 時過ぎに部屋に戻りシャワーを浴びると睡魔が襲ってきたので、素直に寝る。



1月25日（土） ビュッフェの朝食

6時半に起床。いよいよ今日はGP本戦である。

朝食は宿泊費に含まれている、このホテルの1Fにある無料ビュッフェで取る。

洋食や中華やイタリアンを、思い思いに皿に乗せて食べる。うまうま。

エッグスタンドで目の前でオムレツを焼いて貰って食べたり。うまうま。

食べ放題だからって、別に満腹までがつつく必要はないわけだが、貧乏性というよりも色々メニューを試してみたいよね。うまうま。



テーブルに座っていると、給仕が目ざとくコーヒーを注ぎにくるわんこそば状態。しかし何気なく応じた後で気がついたが、給仕はCoffeeを「カフィー」でなく「コーヒー」と言って来た。つまりカタカナ英語でOK。メリケンには「コーヒー」だとほぼ絶対に通じなかったんだよね…とか思い出したり。

いったん部屋に戻ると7時半。満腹でくるちい。しばらくベッドに横になる。

8時半頃に起きて昨日の日記をDiaryNoteにまとめる。本戦は9時にSeat All 掲示の筈だがスリープイン1BYEは11時に会場入りすればOK。50MYRの価値はあったかな。

GP 本戦会場入り

昨日の日記を書き終えて移動を開始し、10時過ぎにすでに開催し構築中のGP会場入り。

オープニングは観損ねた。

参加者は1008人だったらしい（うち日本人51人）。



掲示されている Seat All には例によって自分の名前はないが、慌てない慌てない。

昨日に買った「萌え水墨画プレイマット」(15 頁参照) の写真を up したら日本からの反響が大きかったので、んじゃ土産にあるだけ買っていくかとも思ったが残念ながら残り 1 枚のみ。とりあえず買ったが、今年の関東リミッツ 2014 の賞品にでもするか。



さらに会場入り口に設営されていたサイン会場にほとんど人が居なかったことから、手早く並んでアーティスト両者のサインを貰う。このカードは、昨日の GPT シールド 2 回とその賞品 9 パックから今朝かき集めたもので、ちょうど 4 枚ずつ (笑)。たまたまレアが 2 枚かぶっていた。

なお会場内の女性プレイヤーの姿はちらほら。3%くらいだろうか。多くはない。

多くはないが、暑さのせいかな食べ物のせいかな衣服のせいかな何というか、ふとまし…もといムチムチ系の姿が目立つ。はっきり言って好みである。でもボク、デブセンジャナイヨ。

GP 本戦登録と構築

11 時になったので本部でスリープインの受付をして参加費合計 170MYR を支払いプレイマット等を貰ってから、案内に従って着席後にチェック済のパックを受け取ってただちに構築を開始。

《Chained to the Rocks》
《Soldier of the Pantheon》
《Anger of the Gods》
《Reaper of the Wilds》
《Triad of Fates》
《Akroan Horse》

まずはレアチェックから。…うーん、安い。

レアを有効活用する形で、白赤の英雄的で組む。

しかし除去火力も多くな、いけてない感じ。

多分、だめだなコレは。

GP 本戦のデッキ

Creatures:14

《Soldier of the Pantheon》
《Akroan Crusager》
《Cavalry Pegasus》
《Travelling Philosopher》
《Phalanx Leader》
《Observant Alseid》
《Wingsteed Rider》
《Spearpoint Oread》
《Two-Headed Cerberus》
《Minotaur Skullcleaver》
《Borderland Minotaur》*2
《Ill-Tempered Cyclops》
《Wild Celebrants》

Spells:9

《Chained to the Rocks》
《Gods Willing》
《Titan's Strength》
《Chosen by Heliod》
《Battlewise Valor》
《Ordeal of Heriod》
《Ray of Dissolution》
《Anger of the Gods》
《Vanquish the Foul》

Lands:17

《平地》*9
《山》*8

Sideboard :

《Glare of Heresy》
《Deathbellow Rider》
《Peak Eruption》
《Wild Celebrants》

GP 本戦開始

いよいよ本戦開始。このために自分は日本からマレーシアに来たのだ…のではある（笑）。

Round1 BYE

Round2 Leeさん 赤緑 ○××

G1 回って勝ち。

G2 土地が4枚で止まってもたついたうえ、点数計算を間違えてもうひと分張りできた所を投了してしまう。次のトップ次第では勝てたかも。プレイングが甘い。

G3 土地ばかり引いて負け。あかん。

早くも土がついた。まあ16時からのリバウンドシールドに参加する手もある（笑）。

この頃、女房が自分を発見してスーパーのクロワッサン（5MYR）を届けに来た。

Round3 Yunさん 青黒緑 ○○

G1 相手が島を引かずに勝ち。

G2 ブンして勝ち。

目が乾燥してきたので、手早く1階のスーパーまで走って目薬を買いに行く。

Round4 Edwinさん 白赤緑 ×○○

G1 回されて負け。

G2 サイドインの白対策と赤対策が刺さった。山を割って色事故させたのが大きかった。

G3 ブンして勝ち。

Round5 Moikaさん 白緑 ×○○

G1 相手の先手で、こちらは土地ばかり引いて負け。

G2 こちら先手で、ブンして勝ち。

G3 相手ダブマリのすえ手が伸びず早々に勝ち。

これで4-1。ををっ！これはもしかして初日通過もワンチャンありなのか？

とはいえ初日は9回戦の7-2以上が通過ライン。先は長い。

Round6 カシワさん 白赤→白赤青黒 ○××

G1 ブンして勝ち。

G2 相手が青黒を加えたらしく、バウンスなどでテンポを取られて息切れして負け。

G3 負け。これで4-2。あかん。早くも後がない。

昨日対戦したハッサンが、ペアリングの前などで自分を見かける都度、声をかけてくる。

俺、お前、友達。

Round7 Dさん（日本人） 青黒赤 ××

G1 向こうにゴーゴンを守られたうえ、ゴーゴンで止まって空からも殴れず負け。

G2 向こうが神話ドラゴンを出してきて、こちらのプレイミスもあって負け。ドラゴン自体のでかさに加えて、そもそもプロ白のドラゴンとかこの白赤では無理。

これで4-3。初日通過の目がなくなった。ま、あと2回遊んでかえろかえろ。

またこの方の対戦で、自分が相手の「ブロックしない」宣言をきちんと確認しないうちに焦ってパンプ呪文を打ってしまい、その後でチャンプブロックされて損をする局面あり。こんな雑なプレイをやっていては勝てるものも勝てない。深く反省。

Round8 Weeさん 白緑 ×○×

G1 山2枚でキープしたら、その後も山山と引いて手札真っ白で負け。

G2 ブンして勝ち。

G3 疲れからか割と雑に双方殴りあったすえ、相手のプラス修正で計算が狂って負け。

相手のサイド交換の意図を読み損ねて間違ったサイドを入れた失敗などもあった。

Round9 Ezauさん 白青緑 ×○×

G1 土地が2枚で止まって負け。

G2 ブンして勝ち。

G3 相手が割りとブン気味の所へ、波使いが降臨してGG。見てないそれ。ていうかね、プロ赤とか詰んでるそれ。

結果的には4-1のあとで4連敗で負け越し4-5。ひでえ（笑）。

なんの成果も得られませんでしたあ！

でもマジックって、やっぱりすごくたのしー。明日はスーパーサンデーシールドさっ。

GP 本戦のテーブル割り

GP 本戦のテーブル番号は、このように各行ごとに外周 36 番（72 人）単位の紙が貼ってあったので、基本的には外周から迷わず目的の行を探せたシステム。

ただし各行ごとの座席の並びが、日本でおなじみの

1→36		1→36	
72←37	でなく	37→72	だったので
73→108		73→108	
...		...	



最初だけ一瞬、戸惑いました（笑）。まあ一度慣れてしまえば、明らかにこちらのほうがプレイヤーは楽だと思います。※ジャッジがスリップを配るのは少しだけ面倒かも。

モール内のレストランで夕食

ブースで富士山プレイマットが 666MYR で売っているのを、死んだ魚のような目で見ながら 20 時過ぎに GP 会場を離脱して、ホテルの自分の部屋に戻る。

この頃にはモールの移動ルートを完全に覚えていたわけだが、GP 会場とホテルの自分の部屋の間の所要時間はわずか 3 分ほど。はっきり言って爆アド。

寝ていた女房を起こして部屋を出てから、モール内へ。レストランの前でマッサージ屋が 30 分 40MYR でどう？と勧めてくるが、まずは飯なので断ってレストランへ。

メニューを見ながら給仕に「女房が食えないので、辛さは大丈夫だろうか？」と聞くと「料理自体は辛くない。辛いのが好きな人はチリソースを使うこと」とのこと。よし。

ドリンクと、ラムつきピラフと、鶏肉つきピラフを注文。



特に文句のない味で、女房ともに分け合って完食する。

うまうま。鶏の蒸し焼きうま。脂の乗ったラム肉うまうま。



またソフトドリンクの氷が中空になっていることを発見。
どういう製氷機で作っているのか。

給仕に「この氷はどうやって作るのか」と話しかけたが、
どうも私の拙い英語では、十分にコミュニケーションが
できなかったようだ。残念。

値段はトータル60MYR ほどだったかな…。たぶん現地飯としてはだいぶ高い食事。

ま、こちとら観光客なんで散財上等。

食後の買い物タイム

食事を終えてレストランを出て上を見上げると、モールのこの区画の天井には青空が描いてあることに気がついた。ラスベガスを思い出した。いいな、これ。



そしてのんびり食事を終えた頃、今日も 22 時になるとモールは閉まってしまう。

土曜の夜なのに！これがイスラム国家のクオリティなのか。

慌てて閉店前のスーパーに入り、今夜部屋でつまむ菓子の買い出しなどを、手早く行う。



なおモール内にダイソーがあったのだが、こちらのダイソーは 100 円ショップならぬ 5MYR ショップだった。

部屋に戻って、風呂に入って就寝。

明日はスーパーサンデーシールドだ！

1月26日（日） スーパーサンデーシールドの朝

6時に起床。6時半にビュッフェへ。

今日は食べ過ぎないようにしようとも
思うも、やはり過分にぱくつく。

うまうま。

7時過ぎに部屋に戻って、腹ごなしに
しばしごろごろする。



8時半に会場に移動して、スーパーサン
デーシールドにエントリーしてのんびり。

すでに本戦を会場の反対側でやっていた
が基本、会場はひろびろ空きが多い。

そしてスーパーサンデーシールドには140人以上エントリーしていることに加え、初日
本戦落ちしてしまった錚々たるプロの名前がごろごろ。ジュザ、渡辺、斉藤、高橋...

この面々の中でベスト4に残れとか、始まる前から無理ゲー。ま、いなくても無理だけど…。

《Chained to the Rocks》フォイル
《Bident of Thassa》
《Agent of the Fates》
《Rageblood Shaman》
《Labyrinth Champion》
《Reverent Hunter》
《Reaper of the Wilds》

構築開始

チェックパックとシャッフルの後、自分のパックを
チェック。

うーん、レアが光っていても安い。

スーパーサンデーシールドのデッキ

Creatures:14

《Omesspeaker》
 《Voyaging Satyr》
 《Nimbus Naiad》
 《Reverent Hunter》
 《Thassa's Emissary》 *2
 《Nylea's Disciple》
 《Karametra's Acolyte》
 《Prescient Chimera》
 《Sealock Monster》
 《Nessian Asp》
 《Centaur Battlemaster》
 《Nemesis of Mortals》
 《Vulpine Goliath》

Spells:9

《Annul》
 《Aqueros Form》
 《Voyager's End》
 《Nyrea's Presence》
 《Ordeal of Nylea》
 《Time to Feed》
 《Divine Verdict》
 《Bident of Thassa》
 《Sea God's Revenge》

Lands:17

《Unknown Shore》
 《平地》 *2
 《島》 *6
 《森》 *6

Sideboard :

《Mnemonic Wall》
 《Shredding Winds》

こりゃ難しいなー、と思いつつプールを見て青緑タッチ白で。

正直、初動が下手をすれば3-4ターンになるので駄目だとは思う。



構築中に、萌え水墨画プレイマットを部屋に忘れたことに気がついたので、バイヤーブースで World of Warcraft 2012 年クリスマス限定版のプレイマットを 100MYR で買う。高いとは思わないが、1年以上も売れ残ってる物なのでそれほど珍品でもなさげ。

スーパーサンデーシールド開始

いよいよ本戦開始。さてさて、どこまで善戦できるかなー。

Round1 Liang さん 青緑タッチ黒 ○○

向こうも重く 5 マナ 5/5 海老が普通に殴れるのが強かった。順調にマウントを取って勝ち。

Round2 Neo さん 赤緑 ○×○

まあ普通にさばけて勝ち。

何度か顔を見ているシンガポールのジャッジで、GP 台北でもジャッジをするそうなので 7 月の再開を約す。その前の 4 月の GP 名古屋にも誘っておく。

ここままで 2-0。を、悪くないじゃん。

ふと他のペアリングの点数を見ていたら、ジュザがいきなり一没していてあらあらあら。ま、シールド戦で糞プールをつかんだらいかに上級者でもどうしようもないということか。

Round3 Belay さん 青緑 ××

似た構成だが、向こうのバウンス祭りに負け。

昼食に、今日もスーパーのクロワッサン（5MYR）をぱくつく。もうこれで十分。

Round4 Skesawad さん 白タッチ緑 ○××

かなり白の濃い構成。何しろリミテッドのくせにニクソスが入っていて実際マナが伸びる。直接除去が薄くバウンスも多くないこちらとしては辛い戦いで負け。

これでトップ 4 の目は完全に消えた。

Round5 フジムラさん 青緑タッチ赤 ×○×

お互いもう通過はないので楽しく打つ。クラーケンなど出て負ける。

これで 2-3 で時間は 15 時を過ぎた。まだ 16 時からのスタンシールドに間に合うので、ドロップして私のスーパーサンデーシールドは終了。

モールの周辺を観光

いったん部屋に戻ったら女房が居たので、んじゃマジックは堪能したし今日の残りはもう観光にしようか、ということにする。

2人でホテルを出て、ホテル周辺のプチ商店街をぶらぶら歩く。おさんぽ開始。やっぱりいいなあこの異国感は！ マレーシアは鶏肉天国なのでケンタッキーがあるよ！



ほぼ赤道直下のマレーシアは1月も25度はあるのでコンビニでアイスを買って食べる。モールに出たり入ったりしながらモールの周りをぶらぶらと一周する。

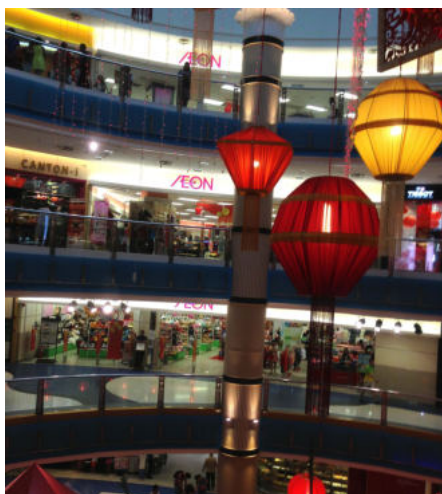
水着のショップ。泳げる暑さだけど、さすがにわざわざ水着を買ってまで施設内プールで泳ぐ目はないかな。

左の肌がまるで露出していない水着はイスラムの女性用水着。た…大変だなあ。



モール内にマジックも扱っている現地のカードショップを発見。それほど特に珍しいものはない。店内ではヴァンガードをやっていたが、まあ普通に考えればマジックをやりたい奴はいまはGP会場にいるだろうなあ（笑）。

※写真が手ブレで申し訳ありません



モールのこのブロックは、イオンが3フロアぶち抜き。
まあわざわざ日本から来て買うものはなし。

また写真は割愛しますが、いまま施設内に新しいビルを
増設したりしています。活発だなあ。



Sunway グループの別の場所への計画も発表中。
どこまで金持ちなのかこいつら。
囲い込みで金を全部吸い上げるとはこういうこと。

現地飯の夕食

一回りした後、いったん部屋に戻り一息ついてから 18 時過ぎ、夕食に出る。

今日の夕食と決めていたのは、さっきモールの周辺をぶらぶら歩いていた際に目をつけていた「現地の人が利用していると思われる広いが汚くて安い食堂」である。

女房とともに奥の丸テーブルに座り、
ドリンクチャーハンやオムライスを
注文する。ほどなく到着。

これでトータル 25MYR ほどの安さ。

やっぱ現地飯はこうだね。

汚いテーブルや床もソウルフル。



そして肝心の味のほうは、私にはすこぶる満足できる辛ウマ味。まあチャーハンや焼き卵など、それほど外れようがないのではあるが。

ただしライス等には遠慮なくスパイスがぶち混んであり（確認する気も別になかった）、辛いのが駄目な女房はほとんど食べられない有様であった。うん、これは悪かった。



食事を済ませてでもまだ明るいし、もう少し外を歩きたかったものの、ここでスコールが降ってきたので小走りで屋内のモールに戻る。

女房へのお詫びに、モール内の甘味処へ行く。そして女房からは罰ゲームに「きゅうり豆乳」を飲むことを強いられる。しかもサイズは大。女房はライチ豆乳を頼んでいた。もっともコレ想像を裏切らず青臭い味だったものの、慣れると段々平気になってきた。

あぶらめしには割と合うかもしれない。

日本アニメの DVD

マッサージもありかと思って昨夜客引きをしていたマッサージ屋に行って値段を聞くと、30分 100MYR とのこと。あれ随分と高いぞ？ともあれ見送って、モール内の本屋に入る。

入り口すぐの DVD のコーナーに大量の最近の日本アニメの 1 クール DVD。ホログラフシールなども貼ってあるので、きっと日本の版權をきちんと取っているのだろう（棒）。

日本で録画し損ねたため観てなくて「艦これ」コラボを先にプレイしてちょっと後悔していた「蒼き鋼のアルペジオ」の全話 DVD が 36MYR。これは他の会社とは異なる現地の会社で、なぜかリージョン表示がない。店員に聞いても分からない（ヲイ）。

しかしたった千円ほどとはいえ損したくなかったので、とりあえずは見送る。

ぱちもんガンダム

さらに本屋の奥に進み、ぱちもんガンダムペーパークラフトを見つけて狂喜する。

カラーリングはイデオンっぽいけど、この頭は確かにガンダム。何よりもガンダムと自分で名乗ってるんだから仕方ない（笑）。

ガンダムはどんな自由な発想でぱちってもいいんだ！

全部で3種類あったが、とりあえずはこの赤い奴を1個購入。11.9MYR。

本屋を出て、錫グッズ屋で自分用の土産としてのペーパーナイフを購入。

20MYR ほどと存外な安さ。



帰国の準備

部屋に戻ったら 21 時。女房はもうひと回り買い物に行くそうなので、財布に残っているリンギットを適当にあげる。シャワーを浴びる。

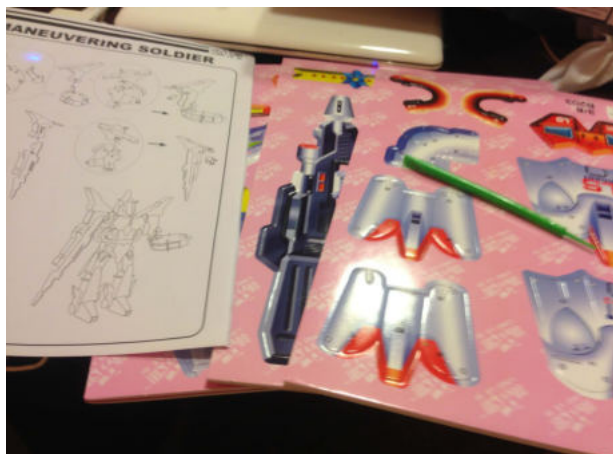
土産などで荷物が増えたので明日のフライトでは一部の荷物を手荷物でなく機内預かりにする必要があるわけだが、当日窓口でなくネットで事前に申し込むと割引…と聞いたので小一時間ほどエアアジアのサイトでトライするも、どうもうまいかぬ。

結論としては、どうやらあらかじめエアアジアのアカウントを取得したうえで、Webチェックインをしておかねばならなかったようだ。むう。

色々な機内食の注文もネットで予約する必要があるようだし、できればオンラインで各種予約を済ませておきたかったのだが、次回に期待。

ぱちもんガンダムを作り始める

日付が変わる頃に女房が寝た後で、自分はむくりと起きて今日買ったパチダムのペーパークラフトを作り始めることにする。帰国前日の夜に何をやっているのか（笑）。



箱のスペックを読むと部品 45・3 歳以上・組み立て 120-150 分とあるので、おそらく大人なら 30 分もあれば作れるのではないかと舐めて始めたが、予想を超える複雑な内容で、思ったより手がこんでいた。

材質が段ボール紙であるので、力を入れて無理やりパーツを押し込もうとして一部が失敗して

もげてしまう事故もあったり、材質の軟らかさを利用しつつ無理やり狭い所を曲げて通す必要があるような部分もあったり曲面を作る必要があったり。

たぶんコレを完璧に仕上げるには「型抜き」の才能が居ると思う。

1 時間半ほど格闘し完成（この本の表 4）。予想外に面白かった。これは追加で土産に買っていくか。

基本的に明日は帰るだけだし、飛行機の中で寝れば良いとはいえもう 1 時半だ。寝よう。



1月27日（月） 帰国の朝

7時前に起床。

最後のビュッフェ朝食。今日はシリアルを試す。シリアルは軟らかくなる前に食べるサクサク主義である。うまうま。

腹8分…腹9.5分に思い思いに料理を腹に詰め込んでから、フルーツでしめる。



食事を終えて部屋に戻ると8時。あと2時間で荷造りをして、10時になったらモールで最後のお買い物をして、正午前にチェックアウトしてタクシーで空港に行って14時出国。たぶん完璧。ともあれ荷造り荷造り。

GPでの嫁スリーブの使用について



平素公言もしているように、キャラスリをこよなく愛している自分は、昨日のスーパーサンデーシールドでは、満を持して黒雪姫様のキャラスリ（Gemstoneさんから同じ物を大量に購入しました）で臨みました。

しかし実際の対戦ではしばしば相手が念入りにマッシュシャッフルをする

ため、この結果と

して僅か5ラウンドでも、もう隅がめくれたり、縁がよれたりの酷い状態になり予備スリーブとの交換を余儀なくされました。

残念ながら、やはり競技レベルではキャラスリは使わない方が良いというのが結論になりました。



あるいは「スリーブ保護スリーブにキャラスリを入れた状態では駄目なのかな？」という疑問が出るかもしれません。確かにスリーブ保護スリーブは基本的に丈夫なので、一日やそこらの使用では破れて交換が必要なことは、自分の経験からも滅多にないです。

しかしながら自分の感覚では（個人の感想です）、キャラスリをスリーブ保護スリーブに入れた状態は「マークドになり得る」ので GP 本戦では勧められないと考えています。

プレイを重ねるうちに、どうしても「キャラスリとスリーブ保護スリーブのずれ」が発生してしまい、これは裏から見ても違いを判別可能（＝マークド）になり得るからです。

少なくとも対戦相手がクレームをつけ交換を要求する余地はあるとしか言えません。



ご最員の嫁スリーブは、スリーブ保護スリーブに入れたうえで、一般レベルで楽しむのが正解というのがジャッジとしての私の結論です。

荷造り完了

それはそれとして、いささか気分が優れない。今日のこれは食べ過ぎではなく、どうやら軽い風邪を引いた。今日はもう帰るだけなのではあるが、明日に響かなければいいな。

荷造りを終える。手前のかいバッグはチャイナタウンで買ったもので、増えた荷物がぎっしり。かなりの重さだが、紐も切れることなく耐えた。これを機内預かりにすることにする。



最後の散歩と買い物

9時半過ぎに荷造りの済んだ荷物を残して、女房と部屋を出る。

まずホテルのコンシェルジュで LCC 空港までのタクシー代を聞いたら 140MYR とのこと。え？それ行きの倍以上じゃん。これはちょっとボッタ…もとい、従業員の方たちの給料が入ってますね。タクシーはホテルの前に止まっている運ちゃんと交渉して拾おうと決定。

さらにホテルを出て、昨日は歩けなかった通りをぶらぶらして写真を撮ったりしつつモールに戻る。

コンビニやドラッグストアで風邪薬を求めようと思うも、どうも錠剤風邪薬が店頭に見当たらぬ。虫歯薬とかは豊富にあるのに。やむなくイラストを見て咳止めシロップを購入。風邪薬としての効能は未知数だが、まあ毒ではあるまい。一旦部屋に戻る。



この日たまに飲んだが、効果はあったんだか無かったんだか…まあ、悪化はしなかった。



そして財布に 140MYR を残したうえ、現地通貨使いきりタイムの開始。まず昨日の本屋に寄って、友人への土産に、ぱちもんガンダムペーパークラフトを3つ購入。ちなみにぱちダムは2つ買ったら1個タダというセールだったようで、結果として1個200円ほどの安さ。オタ友への土産のために、もう

3個くらい買っても良かったかもしれない。

さらに駄目もとでアルペジオ DVD を購入。全話 DVD で千円くらいだけど、こんなに店で堂々と売ってるんだから多分マレーシア通貨価格的にも正規品だよね！

チェックアウトとタクシー相乗り

10 時半に部屋に戻って、買ったものを含めて鞆に詰める。いよいよチェックアウトだ。

それではホテルを出てタクシーを拾おうか…と思ったら、こちらのつぶやきを読んでいた Gemstone さんから「自分もこれから出るけどタクシー相乗りしません？」とお誘いが。即応する。

チェックアウト後に、ロビーの Gemstone さんと合流。初顔合わせであった女房を紹介した後に、2 人をホテルの出口に待たせたうえで外に居る運ちゃんに声をかける。

「LCCT AirPort、3 persons、How much?」「100MYR」「OK」。交渉成立。これでも行きよりはだいぶ高いが、Gemstone さんによれば空港でのチケット購入は大幅割引価格だったらしい。まあ 1 時間で 64MYR はつくづく安かったなと今は思う。

3 人でタクシーに乗り、小一時間ほどタクシーで Gemstone さんと世間話。

空港で昼食

正午前に LCCT 空港に着く。荷物をカートに移して移動したうえ 3 人でファストフードに入り、昼食の鶏肉バーガーをオーダーする。しばらく待たされてからいただくが、基本、食欲のあまりない私は自分は頼まず女房の頼んだものをちょっとつまむだけにする。

まだ 1 時間ほど時間を潰す必要があるのでネットに接続。空港では普通にレンタルの Wifi モデムが使えた。やはりモール内では 3G 通信ができなかっただけなのだろうか。

残念ながらこれではクレームをつけて金は払わない、というわけにはいかないようだ。

空港には土産物屋があるわけだが、やたらとチョコレートの店が目に入る。チョコレートというのはマレーシアの定番の土産ではあるようだ。

出国

13 時、積み込み荷物をエアアジアのカウンターに預ける。

機内の荷物の追加料金として 105MYR を請求されたのだが、財布の中の現金が 90MYR ほどしか残っておらず、ここでクレカ決済をする羽目になる。ぐぬぬ。計算違いだ。

そしてこの 90MYR は機内でも使い切ってしまうしかあるまい。

では、いよいよ出国だ。

なにごともなく出国審査を終え、
16 番ゲートで 30 分ほど待つ。
ほぼ同じ時間に関空行きの便に
乗る Gemstone さんも、隣の
ゲートのようだ。

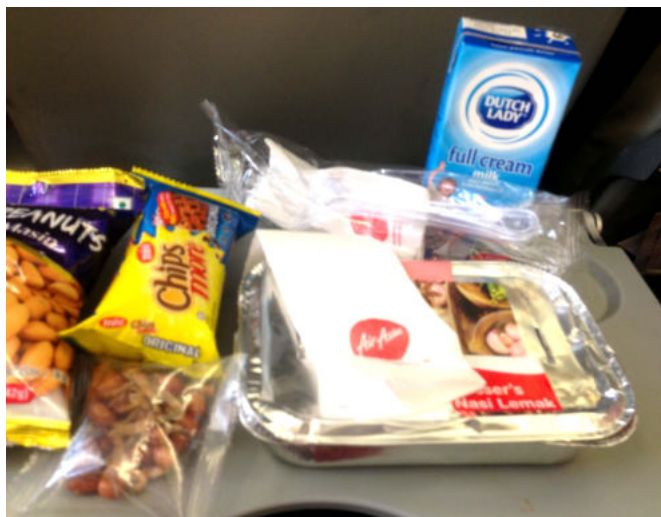
なにごともなく搭乗し、14 時、
離陸。さらばマレーシア。



機内食など

時間は真昼間であったものの、残念ながら基本的には体調が優れなかったもので、機内では基本的に寝たり暇を潰すだけにとどめる。ただし 90MYR の使い切りモードでもあるので、機内で販売ワゴンが回ってくる都度、呼び止めて飲み物を中心に何かしら購入。

そして夕方になり、夕食の販売が始まったのでこれも購入。残念ながら 1 種類しか食事は残っていないらしい。どうやら辛そうな料理であったので、やっと空腹を感じ始めていた自分は注文したが、昼食をがつつり取った女房はパスするとのこと。ま、それも良い。



弁当 15MYR に加え、菓子やら飲み物（合計 27RM）を思うままに注文。

気圧の関係で菓子の袋がぱんぱんだ。

弁当は、自分の体調が万全であれば、問題なくおいしかっただろうなあ、の普通の辛い鶏肉料理とライスだった。

帰国

何ごともなく 7 時間のフライトを終えて、無事に 22 時（ここからは日本時間）に、羽田空港に到着した。

飛行機を降りてから目の前のバスに乗って空港ビルに入り入国審査終了。

例によって預けた荷物がなかなか出てこないため待たされるも、税関も通過して 23 時に羽田空港を出て、日付が変わってから帰宅した。

お家に帰るまでが GP であり、これで私の GP クアラルンプールは終了した。

（完）

パチモンはどんな自由な発想で作ってもいいんだ！



GP クアラルンプール 2014 参加記 (v1.2)

発行：新小岩マジック <https://twitter.com/kondohi>

発行日：2016年12月5日 v1.0は2014年4月29日発行です

本書の文章や写真などの無断転載を禁じます

筆者（ひろじ）について：

<https://twitter.com/kondohi> （ツイッター。最近はここメインです）

<http://otakutalker.diarynote.jp/> （ダイアリーノート。マジック関連はここで）